

カメラを通して N I K K O 地域を再発見。

コロナ禍で、私たちの日常生活は大きく変わり、遠い旅行先よりも身近なところで休暇や週末を楽しむことが増えたのではないのでしょうか。住んでいる地域をゆっくり歩くことで、改めて地域の魅力やおもしろさに気づくこともあると思います。

皆さんも「カメラ」や「スマートフォン・タブレット」を持って、地域を歩いてみませんか。ファインダーや液晶画面を通して、いろいろな発見ができるかもしれません。そして、写真という形で、その発見を家族や友人、さらに多くの人と共有できるかもしれません。

今回、マイ・チャレンジで秘書広報課に来てくれた2人の中学生に、カメラを持って日光を歩いてもらいました。彼らにとっては初めての体験。はたして、どんな発見があったのでしょうか？



STEP
03

まち歩きしながら撮ってみた。



STEP
01

カメラの基本を勉強してみた。

STEP
02

市内で活躍する写真家に聞いてみた。

STEP
04

写真を選んでみた。

タブレットカメラ担当

大沢中学校2年生
よしだ たすく
吉田 佑さん

総合技術部所属。趣味はパソコンで活動すること。好きな食べ物のみかん。



今回の
体験者

一眼レフカメラ担当

大沢中学校2年生
いしかわ たいき
石川 大暉さん

フィールドホッケー部所属。趣味は音楽を聴くこと。好きな食べ物はラーメン。



カメラ初心者が日光の魅力を伝える写真が撮れるか挑戦してみた。



カラーで広報

この記事は、市ホームページでカラーでご覧いただけます。

STEP 01 カメラの基本を勉強してみた。

現在の主流はデジタルカメラで、大きく分けて、次の3種類。

- ① デジタル一眼レフカメラ
- ② ミラーレス一眼デジタルカメラ
- ③ コンパクトデジタルカメラ

機種にもよりますが、①・②のほうが③よりも、より細かな設定ができ、画質の良い写真が撮れるため、さまざまなシーンで状況に応じた撮影ができます。一方で、より値段が高く、大きく重いものが多くなります。

また、スマートフォンやタブレットなどのカメラ機能でも手軽にきれいな写真を撮影することができます。

僕は、今回は一眼レフカメラを使ってみよう。ファインダーをしっかりとのぞいてピントを合わせることと、手ブレしないように脇を締めて撮ることが大切なんだって。



僕は、学校から配られるタブレットを使ってみよう。慣れてるし、カメラより簡単に撮れそう。水平に撮ることを意識するといいんだって。



STEP 02 市内で活躍する写真家に聞いてみた。

市職員(日光観光課)で、写真家としても活動している北山建穂副主幹に日光での写真撮影のポイントなどを聞きました。



写真の構図を話す北山副主幹

● 写真を撮る際のこだわり：

何を伝えたいのかを意識することです。例えば、風景の中の「きれいな花」を伝えたい場合は、花にピントをあてます。きれいな写真を撮るには：

前もって撮影場所の環境や状況を想像しましょう。太陽光の加減でも、写真の印象は大きく変わります。

● おすすめスポット：

冬の奥日光の湖畔や滝などがおすすめです。身近な場所だと、田植え前の水が張られた水田は絶好のスポットです。

● 日光の魅力：

自然豊かな日光の雨上がりは、しっかりととした緑色がとても素晴らしいです。歴史ある建造物と自然の美しさの調和も見事です。

● 写真を上手に撮るには：

タイミングが大切です。シャッターチャンスを見逃さないようにしましょう。カメラを持って地域を歩くことで、いつもと違った景色が見えてきます。普段は通り過ぎていた小さな花の美しさに気づくかもしれませんね。

STEP
03

まち歩きしながら撮ってみた。

／ がんばるぞー！ ／



小松さん 吉田さん 石川さん

カメラの使い方や写真撮影の極意を勉強した後に、公園で撮影の練習もして、準備万端。いざ、まち歩きしながら撮影に挑戦！ まち歩きのナビゲーターとして、まちをよく知る、日光活性化プロジェクトニッポの小松乙女こまつおとめさんを迎え、新たに見つけたり再発見したりした日光の魅力をバシバシ撮影していきます。

今回は、まち歩きスポットとして、日光西町・杉並木公園・下野大沢駅周辺を巡ります。特に下野大沢駅周辺は、2人が日常的によく見ている景色ですが、見慣れた景色はフィインダー越しに見ると、どう映るのでしょうか？

1 枝ぶりの良い木を憾満かんまんヶ淵がふちで発見。陰影がかっこいい 2 あれ？ カメラの設定間違ってる？ …でもそのお陰で、おもしろく撮れた西町の道 3 下野大沢駅に駐輪中の僕の自転車。サビがいい味出してるんだよなあ 4 杉並木公園で遊んでいた人懐っこいお子さんをパシャリ。子ども目線で撮ることが大切だった(1~4は石川さん撮影)



5 大谷川ってこんなに青いの？ 日光ひくろうって水がきれいなところが多いなあ 6 杉並木公園で梟うしろうの彫刻を発見。ほかにも彫刻がたくさんあったよ 7 小松さんが連れて行ってくれた「古民家日光 銅屋」のテラス。朝日が気持ちいい 8 杉並木の側溝にあった水門がかっこよかった(5~8は吉田さん撮影)

協力してくれた皆さん



日光市役所職員
「百景図鑑」著者
北山 建穂 副主幹
きたやま たてほ

日光市在住・在勤。職務をきっかけに写真を始め、第3回写真出版賞大賞を受賞し、主に日光市で撮影した写真を掲載した2冊のビジュアルブックを出版。



日光活性化プロジェクト
ニッポ副代表
小松 乙女さん
こまつ おとめ

「大好きな日光を盛り上げたい」という思いで活動する市民団体、NiTで「地域でカメラを学ぶまちぶら撮影会」などのイベントを主催。



NiT ホームページ

NEW DAY, NEW LIGHT.



令和3年にスタートした新しい日光を発信するブランディング「NEW DAY, NEW LIGHT. 日光(新しい日、新しい光)」。

日光には、まだまだ知られていない自然や文化・遊び・食などの資源が数多くあります。皆さんにとっての新しい光がきっとあります。



市ホームページ
NEW DAY,
NEW LIGHT.

▶ 吉田さん
ベストショット
「古民家日光の祠」
ほこら
真っ赤な祠と光の線がポイントです！



◀ 石川さん
ベストショット
「下野大沢駅舎」
水平を意識してバランスよく撮れました！



今までカメラを持った経験がほとんどなかった石川さんと吉田さんでしたが、2人が撮った写真は、私たちが日頃、流し見でしまっている日光の風景やまち並み、人、建造物などをそれぞれの視点で見つけて切り取った、すばらしいものばかりでした。2人の写真から、日光の魅力が改めて感じた方もいることでしょう。

日光市は広大で資源がたくさんあるまちです。ぜひ、皆さんも、地域の魅力を再発見してみませんか？ まずは、好きな食べ物や道端の花、大切な人の表情など、身近なものにカメラを向けてみましょう。

見慣れた地域や生活は、カメラを通すと、新しい景色に見えるかもしれません。

日光フォトコンテスト
実行委員会

今年度は令和4年11月19日(土)・26日(土)に、鬼怒川温泉周辺で「日光写真教室〜ふおとふれんず〜」を開催しました。

小学生〜高校生を対象に19名の応募があり、1日目は、講師からカメラの使い方や写真の撮り方などの説明を聞いた後、SLRや鬼怒橋岩大吊橋などを撮影しました。



2日目は、それぞれが撮影した写真から数点づつ



最優秀に選ばれた作品

プリントし、その写真を選んだ理由などを発表し合い、最後には、全員で作品の審査を行いました。会場は参加者の個性が光る写真であふれました。これまでの子どもたちの作品や、開催情報などは専用ホームページでご覧ください。

くわしくは生涯学習課
0288(2)5182
ホームページ



ホームページ

特集についてくわしくは…秘書広報課シティプロモーション係 ☎0288-21-5135